

「罹患率の高いがんの早期発見と、 集学的治療の進歩について」

「胃がんのお話」 ～内視鏡治療とがん免疫療法について～

大阪市立大学医学部附属病院 消化器内科

講師

平良 高一

「乳がんのお話」

～乳がんにおける集学的治療（個別化治療）の進歩について～

大阪市立大学医学部附属病院 乳腺内分泌外科 病院講師

森崎 珠実



平成30年12月8日（土）

14:00～15:30（13:30開場）

会場：あべのハルカス25階 会議室 E

定員：50名（申込み必要、無料）

申込締切：12月5日（水）

申込方法

●窓口：1階①番窓口

●FAX：06-6636-3539

（裏面に必要事項記載してください）

罹患率とは？

ある集団で新たに診断されたがんの数を、その集団のその期間の人口で割った値。（通常1年単位）

	男性	女性
1位	胃	乳房
2位	肺	大腸
3位	大腸	胃

国立がん研究センター2014年統計より



集学的治療とは？

がんの治療法としては、主に「手術」「放射線」「薬物」などがありますが、これらを単独で行うのではなく、がんの種類や進行度に応じて、様々な治療法を組み合わせた治療を行うこと。

国立がん研究センターHPより

共 催：大阪市立大学医学部附属病院（地域がん診療連携拠点病院）

7大学連携個別化がん医療実践者養成プラン

問合せ先：06-6645-2857（患者支援課 小畑、長広）